

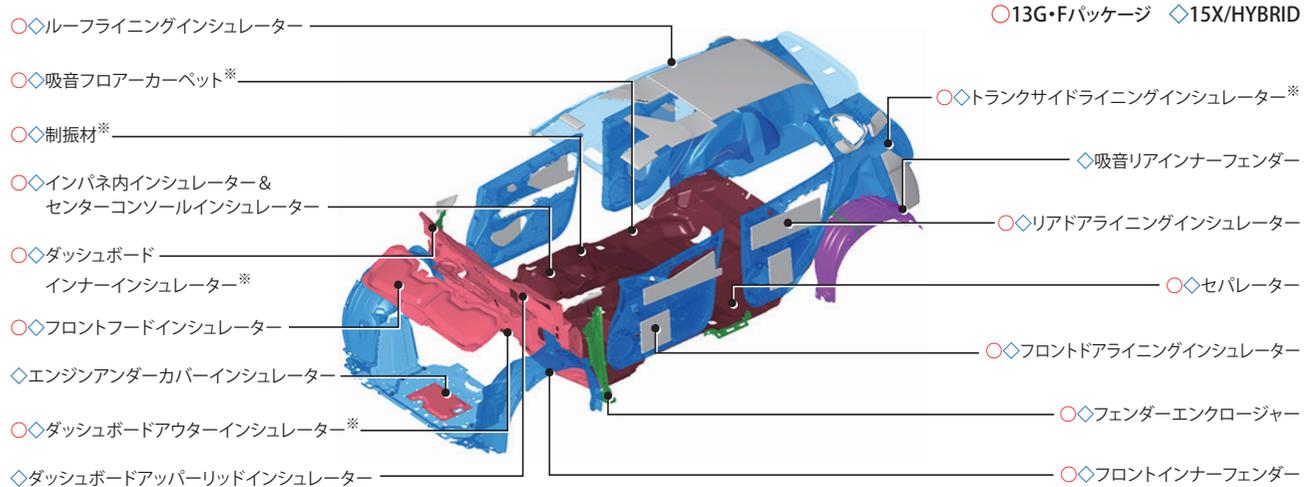
上級車からの乗り換えでも満足いただける、優れた静粛性。

コンパクトカーのニーズが高まる中、セダンやミニバンから乗り換えても満足いただける上質な室内を目指して静粛性を徹底向上しました。防音材・遮音材は適用面積の最大化を追求。また、段差を乗り越した際のショックノイズにも気を配りました。

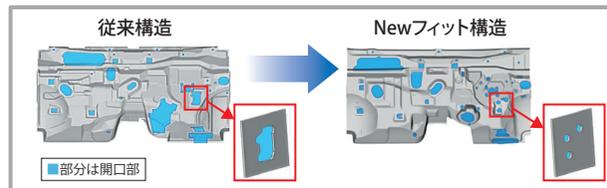
防音材・遮音材の適用面積最大化

防音材・遮音材は適用面積の最大化に取り組み、すき間からの侵入音を削減。15X、HYBRIDは適用箇所の追加や防音材・遮音材の仕様変更により、さらなる静かさを実現しました。

■防音材配置図

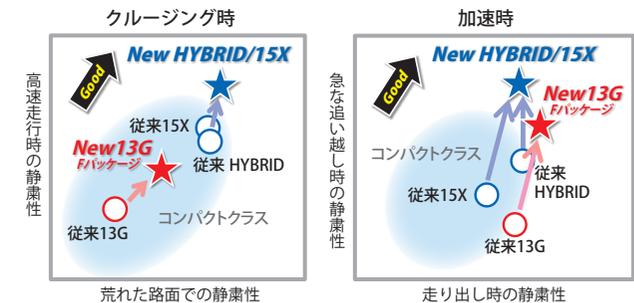


■防音材適用面積最大化の例 (アクセルペダルブラケット取り付け部)



※タイプによって仕様が異なります。

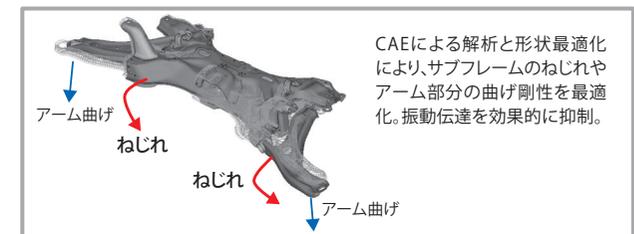
■静粛性比較イメージ図



ショックノイズの低減

段差の乗り越し時、タイヤからの入力を受け止めた車体の振動は音となって車内に伝わります。その大きさや音色は部品の振動固有値で決まることから、サブフレームなど大型部品の形状最適化とウエイト調整を行い振動伝達を効果的に抑制。リアサスペンションスプリング取り付け部にはプレートを追加して剛性を高め、ショックノイズを低減しました。

■サブフレーム固有値コントロールの例



■リアサスペンションスプリング取り付け剛性向上

